

一般質問



国民健康保険事業について 子育て、就学支援について

高久昭二

国民健康保険事業

質問 小泉内閣の悪政のもとで、特に高齢者や障害者を含む生活弱者の方々はますます生活しにくい社会になってきた。

今回の国民健康保険、税率統一化に伴う大幅な引き上げや、今年度の県市民税賦課等合わせ、多くの市民から苦情、相談等が寄せられたと思う。

六月市議会でも取り上げたが、市民生活が苦しい状況に追い込まれているときに、法律で認められているとはいえ、機械的に差し押さえ予告通知書的手段に訴えるのではなく、地域毎に積極的な納税相談に乗り、市民の立場に立った納税業務を進めるべきではないか。

市長 合併後初の、統一した国保税として六月に決めた。

差し押さえについては、機械的のと言う事ではなく、手順を踏んで納税しやすい相談に応じてきた結果として督促そして最終的には差し押さえせざるを得ない場合通知を出している。

質問 仙北市全体で国保税滞納者に対する、国指導のペナルティとして短期保険証

八百六十六世帯、資格証明書は八十四世帯に発行されている。

特に資格証明書は医療機関窓口で全額自費払いとなるため受診を控え、病気を悪化させる等、大きな社会問題になっている。

これらを発行する際どのような手順及び判断基準に基づいて業務をしているのか。

市長 滞納者に対する資格証明書等の発行については、いろいろな、とるべき処置を行った上で、やむをえない場合の対応である。

子育て、就学支援

質問 仙北市では県の「すこやか子育て事業」にのっとり就学前児童の医療費助成制度を実施している。

大仙市では小学校六年生まで医療費完全無料化を実施してきたが合併二年目で一部所得制限が実施された。本市の同事業に対する考えを伺う。

市長 仙北市としては県の就学前児童に対する所得制限付の支援策に対して、ご存じの通り所得制限なしで支援策を講じている。

質問 仙北市の不登校生徒数は十三名いると聞いています。子供の将来にとっても、

避けて通れない教育上の重要な問題である。教育委員会としてどのような対策を講じているのか。

市長 学年の生徒指導対応チームを作って、その子供の指導のあり方について検討を経て呼びかけをし、かつ、保護者との連携をとりながら進めている。さらには、教育カウンセラーとも相談し、個別の面接や対応指導している。

岩瀬北野線

質問 現在工事が進められている小館、落合地区街路は旧角館町議会に示されたルートからかなり変更されている。

る。

落合野球場の道路として活用したいとの説明であったが実質百五十メートルほど離れており国体競技に活用するとすれば新たなアクセス道路が必要になる。いつの時点で今のルートに変更されたのか。

教長 都市計画決定後、工区を定めて区間ごとに進めてきた。

現在の工区がいつの時点の説明であるか分からないが、いづれにしても、区間毎の認可をいただき着工し、その際当然のことながら議会にも報告し工事を進めてきた。

議会に報告なしでルート変更したとは思っていない。



岩瀬北野線（小館地区）